



月の園だより

令和8年7月1日

目黒区立中央町保育園園長

梅雨空で曇りや小雨の日が続いていますが、雨が上がると子どもたちは園庭へ出て裸足で水たまりに入ってみたり、プランターの下を覗いて虫を探したりして、この季節ならではの遊びを楽しんでいます。先日、0歳児つくし組の子どもたちが園庭で遊んでいました。マットの山に腹ばいになり足に力を入れて、一生懸命にマットを蹴り登ろうとしています。ほんの少し上に登れると、満面の笑みで嬉しさを表現しています。「すごいね。登れたね」と保育士が声をかけると、その子どもはますます嬉しそうにニコニコしながらさらに足に力を入れてマットを登ろうとしていました。子どもたちがやろうとしていることを見守り、願いを達成できるよう支えていながら、できた喜びに共感していく先にさらに子どもたちの好奇心や学びが広がるよう、一人ひとりに丁寧に関わっていきたいと思います。



6月下旬に3、4、5歳児クラスはプール開きを行いました。曇り空で気温が上がらなかったため水深は子どもたちの足元程度にしましたが、皆プールを目の前にして目を輝かせています。5歳児扮する“水の精”が登場し、プール遊びを安全に楽しめるようプールに魔法をかけてくれました。これから暑い日には0、1、2歳児もテラスでタライの水を囲み水遊びを行います。子どもたちが夏の遊びを通して開放感を味わいながらいろいろな発見を楽しみ、健康に過ごせるよう活動を進めてまいります。



日頃より、お子さんの健康管理にご協力いただきありがとうございます。保育園では、園目標にあるように「心身ともに健康な子ども」を目指し、手洗い・うがいやトイレの使い方などの衛生習慣を身に付けられるように、手洗いチェッカーやばい菌のスタンプなどで普段見えない手の汚れを意識して手洗い指導をしています。自分自身の身を守るように体には大切な部位（プライベートゾーン）があり、他人には見せない・触らせない事を伝えました。また、生活の中で怪我に繋がる危険な事を伝えたり、子どもたちと一緒に考えたりしています。子どもたちが健やかに成長するよう、身体計測をきっかけに大きくなった喜びを子どもと共感し、元気な体を作るためには何が大切か、生活リズムで早起き・早寝、(朝)ごはん、体をいっぱい動かして遊ぶ、トイレに行き排泄習慣を身に付けて体調を整えることなどを伝え、食事の大切さは、栄養士の食育とも連携しています。ここ数年、スマホやテレビ、ゲームなどメディアの体への影響を子どもたちに知らせています。使い方や時間を決めるなど子どもだけでなく、ご家庭でも一緒に考えていけると良いですね。



感触遊びの様子をお伝えします



1 歳児クラス

保育士が砂山を作るとシャベルを持って来て砂をかけた
り、保育士の真似をしてペタペタと手で叩いて「おおきい」
と喜んでいます。泥が付いて真っ黒になってしまった自分の
手を見て驚いていましたが、同じように黒くなった保育士の
手を見て自分の手と見比べ「いっしょ」と安心したように笑
っていました。砂山に手をついたり、足踏みをしたりするう
ちに砂山が崩れ始めると、周りで見っていた子も興味を持って
手を伸ばし始めました。砂山が崩れていくたびに「見て見
て」と楽しそうに保育士を見つめています。「お山、崩れち
ゃったね」と保育士が声をかけると「もういっかい」と山に
砂をかけては崩して何度も繰り返していました。砂や泥など
形が変わる面白さやドロドロ、さらさらなどの感触を体いっ
ぱいで感じながら楽しんでいきたいと思います。



3 歳児クラス

バケツやボトルいっぱいに入れた水を勢いよく地面にこぼして
水たまりができ、泥水がバシャバシャと跳ねると「うわぁ」と子
どもたちは大喜びしています。泥水の中に手を入れて泥を集め「つ
めたい」「きもちいい」と嬉しそうに泥の中に両手を隠し「手が見
えなくなっちゃった」と言っていました。そして泥だらけになっ
た手を友達や保育士に見せて「おばけだぞー」と楽しんでいます。
裸足で泥水の中に入っていく子もいて、足踏みをして
泥水を跳ねさせては歓声を上げて喜んでいます。
ダイナミックに遊んでいると顔にも
泥がとんでいて「顔についてるよ」と
お互いの顔を見て大笑いする姿もありま
した。泥が苦手な子も皆が楽しそうに遊ぶ
のを見て指先で泥に少し触ってみたり、
シャベルなどの玩具で触ってみたりして
います。泥だけでなく、絵の具や粘土など
全身で色々な感触に触れて楽しみたいと思
います。

